



# 徳成寺

## 寺にかから版

第214号 2024年10月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

「弥陀の誓願不思議にたすけられまいらせて」とは、

歎異抄第一章の冒頭です。不思議にたすけられるって、どんな

事でしょう？蓮如上人は「遠きは、近き道理、近きは遠き道理なり。」

と教えています。仏様からは、随分と遠く隔たってしまったなあと感じた時、

実は一番仏様に近いのでしょうか。反対に、我こそは仏様に最も近いと自信満々

な時、実は仏様から最も遠く位置しているのです。それを不思議にたすけられる

と教えられたのです。親鸞聖人は「地獄こそが私の住み家だ」と仰せになりました。

身心ともに苦しめられる仏様の国とは似ても似つかぬ地獄へと遠く隔たってしまった。

その身の自覚が最も仏様に近いことを言い表しているのです。「灯台もと暗し」と

言いますが、闇が深ければ深いほど、灯台の輝きは増すのです。闇の自覚が深ければ、

深いほど、仏様に近くなる道理。これを不思議と言わずして、何をか言わんや。

-発行責任者-

住職  
大山健児

坊守

大山ひとみ



## 大山超世の耳を澄ませば

お世話になっております、副住職です。先月の紙面でお知らせしました、「真宗講座」でお話をしました。ありがたい事にご門徒の方が聴聞にお参りくださり、大変嬉しかったです。お話の内容としては絵巻物に描かれている聖人のお姿と現代に生きる私にそのお姿がどう映っているか、と言う事を中心にお話を致しました。仏を念じる聖人のお姿を見て、立派な人間になりましょう、というなら話が早いのですが、真宗はそうではありません。学ばば学ぶほど、己の道になり、真宗の願いから離れていくので、折に触れて出会う人や言葉を思い出して、離れてしまったスタート地点にまた帰っていく事が大事という趣旨でした。しかし、話していく間に今聴聞している人の否定に繋がらないかと不安になり、焦ってしまい、しどろもどろになってしまいました。写真はミッフィー人形とうちの娘です。良かれと思って買ったのですが、怖がられてしまいました。世の中は間に合わない事でいっぱいだなとしみじみと思います。

